

すごいっしょ！ひだか ～知ってる?!ひだかのいちご～

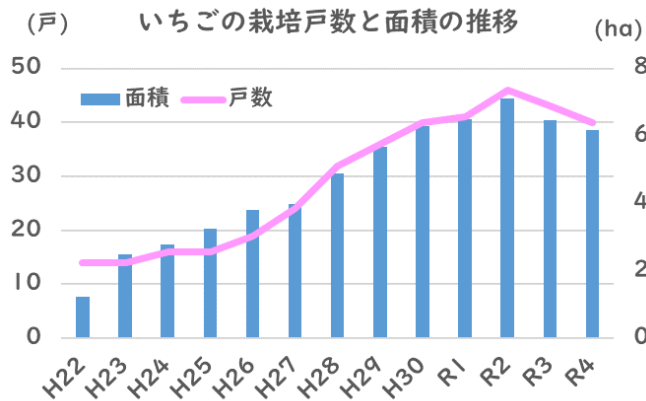
どんな産地なの？

JAひだか東では、令和4年は40戸のいちご栽培農家が、6～11月までケーキ用として「すずあかね」という品種をつくり、JAに出荷・共同選果され、東京のケーキ屋さんへ届けられます。

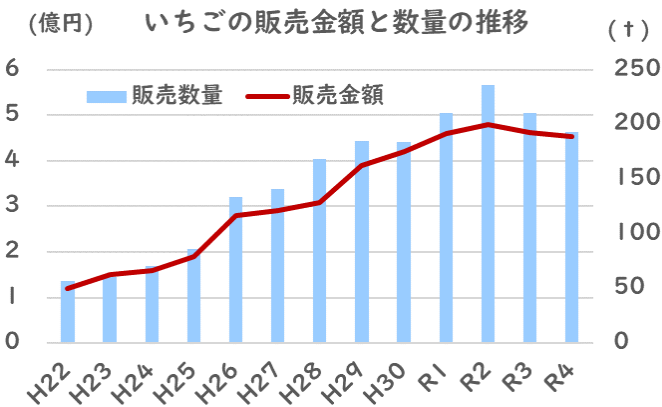
びっくりなのは、いちご栽培農家の80%が、浦河町・様似町に移住し、新たにいちごをつくり始めた「新規参入者」ということです！



JAによる共同選果



町営のいちごハウス団地



これからの展望は・・・

令和元年に5戸、令和2年に4戸、令和3年に1戸が農業研修を終え、新たないちご栽培農家としてデビューしました。

これからも日本で有数のいちご産地として、日々の努力を重ねて行きます！

産地になるまでの苦労話

JAひだか東管内は有数の競走馬の産地ですが、高齢化・後継者不足が深刻でした。そこで、町・JA・普及センターが中心となり、ケーキ用いちごによる新規参入を勧めてきました。町はリース方式によるいちごハウス団地の設置を支援、JAは収穫されたいちごを選果・パッケージする共同選果場を整備、普及センターはいちご栽培技術の習得を支援した結果、地域に活気が蘇るまでになったのです。



普及センターによる栽培技術支援